




【作物振興型】静岡市駿河区丸子地区

題名	耕作放棄地を借り受け農業参入し、花木生産に取り組む		
実施年度	平成24～26年度	解消面積	3.8ha
取組主体	株式会社 長田林業するが園	支援機関	静岡市、静岡市農業委員会 静岡市農業協同組合 静岡県中部農林事務所
活用した事業名	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国） 耕作放棄地緊急解消促進事業費助成（県） 耕作放棄地緊急対策事業（市） 		
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> 静岡市駿河区丸子地区は、江戸時代、東海道の20番目の宿場町として栄えたところで、“とろろ汁”が名物である。 丸子川の西に広がる急傾斜の農地では主に茶が栽培され、国産紅茶発祥の地としても知られている。 		
再生の取組	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年に葵区北沼上の耕作放棄地1.5haを借受け、榊、ヒサカキ、香花の栽培を始め、丸子地区でも0.8haを借受け、栽培を始めた。また、知人の農業者から仕入れ販売を行い、販路も確保した。 農業参入当初から法人化を考えており、平成25年6月に「株式会社長田林業するが園」を設立した。また丸子地区では、前年の再生状況を見た耕作放棄地所有者から借りて欲しいとの申し出が相次ぎ、年度末までに経営面積が3haに拡大した。 平成26年は交付金を活用して約0.8haを再生した。 榊やヒサカキ、香花は、3年後に収穫可能となる8年生の大苗を定植し、平成27年から収穫、販売が本格的に始まる。 		
再生利用に至ったポイント	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の活用が農業参入の手段であった。 丁寧な再生が地元で理解され、借地が増加した。 		
活動風景	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>H26 丸子地区再生前 (事業活用地)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>H26 丸子地区再生後 (定植はH27.3を予定)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>H24 丸子地区再生現場</p> </div> </div>		
問い合わせ先	中部農林事務所企画経営課 (株)長田林業するが園	TEL 054-286-9262 TEL 054-264-6208	